

NO22 惣村の形成と土一揆・応仁の乱

NO180 惣村 2002 追試

中世の「地縁的・自治的組織である惣村」について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ここでは祭礼などの年中行事、用水や山林の管理について合議した。
- ② ここで行なわれる話し合いは寄合と呼ばれた。
- ③ 惣村内で責任をもって年貢を徴収する自検断(地下検断)が行なわれた。
- ④ 惣村内の秩序を維持するための規約が定められた。

答⇒自検断は裁判で誤り、正解は③

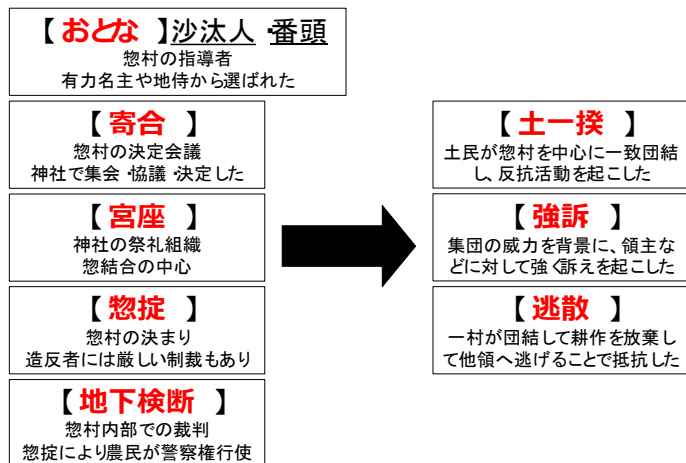
【惣村】: ●農民たちによる自立的・自治的な村 ●領主などの非法に抵抗する村
●村の神社の祭礼行事を中心とまとまる村 ●名主層・小農民などが構成員

NO181 惣村と一揆 2012 追試

惣村と一揆について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 惣村では寄合という会議が行われ、それには守護が加わることもあった。✕
- ② 村民は惣掟を定めたり、みずから警察権を行使することもあった。○
- ③ 領主に対する要求が認められない場合には、村民が逃散する場合もあった。○
- ④ 畿内では、惣村の結束を基盤として、徳政を求める一揆が起こることもあった。○

誤文→①



Pain is inevitable Suffering is optional

NO182 一揆 2002 一本

次の史料に関連して述べた文ア～エについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

三日)…近日四辺の土民蜂起す。土一揆と号し、御徳政と称して借物を破り、少分を以て、押して質物を請く。ことは江州より起こる。…侍所、多勢を以て防戦するも猶ほ承引せず、土民数万の間防ぎえずと云々。 出典『建内記』

- ア この一揆は、將軍足利義教が殺害されたあとの混乱に乗じて蜂起したものである。
イ この一揆は、朝鮮軍が対馬に来襲する騒然とした社会状況に乗じて蜂起したものである。
ウ 奈良の柳生街道には、このときの一揆で負債破棄がなされたことを記した碑文が残されている。
エ 一揆側の攻勢のために、幕府はやむなく徳政令を發布した。

- ① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ

正解⇒②

NO183 柳生の徳政碑文 2014 本

室町幕府4代將軍であった足利義持が、1428年に死去すると、人々は支配者交代の機をとらえて一揆を結び蜂起した。「正長元年ヨリサキ者、カンへ四カンカウニヲキメアルヘカラス」と記す奈良市柳生の碑文が著名で、一揆の時代を象徴する。

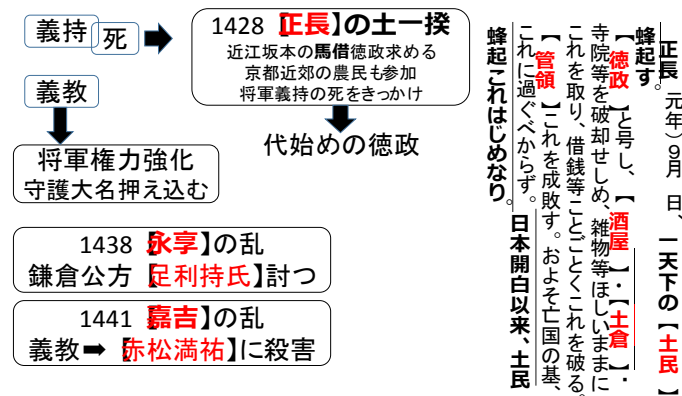
問 下線に関して述べた次の文XYについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 「カンへ四カンカウ」は惣村の連合組織で、徳政一揆の基盤となっている。

Y 「ヲキメ」とは荘園領主に対する年貢の未納分などの負債のことで、「負い目」がなくなるよう返済すると宣言している。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

正解→①。「カンへ四カンカウ」とは、春日社領の大柳生・坂原・小柳生・邑地の神戸4カ郷をさす。この郷民は惣村を形成し私徳政を実行した。Y→ヲキメとは負い目＝負債。郷村内外の土倉などからの借金などをさす。



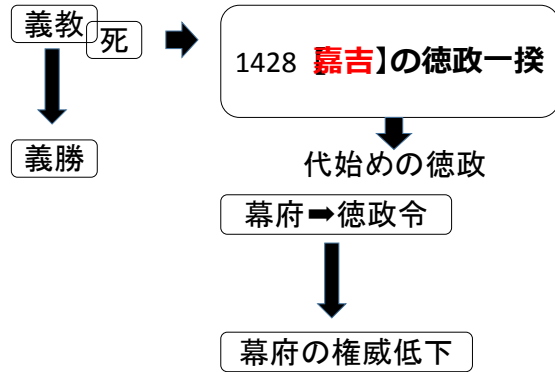
NO184 応仁の乱 2013 追試

応仁の乱およびそれ以降の状況について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 管領家の赤松氏や將軍家の家督継承問題が、乱の勃発を招いた。
- ② 細川勝元が東軍を主導し、山名持豊（宗全）が西軍を主導した。
- ③ 禅僧の桂庵玄樹が島津氏に招かれ、薩南学派の基礎をつくった。
- ④ 京都が荒廃し、地方の戦国大名のもとに身を寄せる公家が現れた。

誤文→①。赤松氏は管領家ではない。

- (b) 管領（←執事、將軍の補佐、斯波、細川、畠山氏が就任＝三管領）
- (c) 侍所（京都の警備、長官（所司）山名、赤松、一色、京極氏が就任＝四職）という。



三日（…近日四辺の土民蜂起す。土一揆と号し、御徳政と稱して借物を破り、少分を以て、押して質物を請く。…とは江州より起る。…侍所、多勢を以て防戦するも猶ほ承引せず、土民数万の間防ぎえずと云々。…今土民等代始に此の沙汰先例と稱すと云々。言語道断の事なり。…同日…今度土一揆蜂起の事、土蔵一衆先管領に訴へ千貫の賄賂を出す。出典『建内記』

1485 ✖ 山城の国一揆

8年間の自治



下剋上の風潮

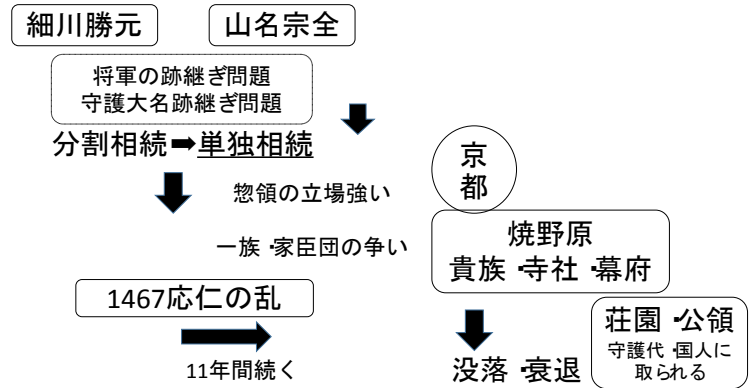
十一日…今日山城（國人）集會す。…同じく一國中の「土民」等群集す。今度兩陣、畠山政長、義就（の時宜を申し定めんが為の故と云々。然るべきか、但し又「下剋上」の至也。十七日、…兩陣の武家衆各引退ぎ了。おわんぬ。山城一國中の國人等申し合す故也。自今以後に於ては兩畠山方は國中に入るべからず。本所領共は、各々本の如くたるべし。新聞等一切之を立つべからずと云々。珍重の事也。十三日、今日山城國人、「平等院」に會合す。國中の掟法猶以て之を定むべしと云々。凡そ神妙。但し興成（うじよこ）せしめば天下のため然るべからざる事か。尋尊著日記『大乘院寺社雜事記』

NO186 越前の一揆 2002-一本 正誤

次の史料に関連して述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。
 今月五日越前府中に行く。其以前越前合力勢（＝援軍の朝倉氏の軍勢）賀州に赴く。然と雖も、一揆衆二十万人、富樫城を取回（とりま）く。故を以て、同九日城を攻落さる。皆生害（しょうがい）がいがい（自害）す。而るに富樫一家の者一人之を取立つ。

- ① この一揆では、蓮如の布教により広まった一向宗の門徒が中心になって蜂起した。
- ② 富樫政親を自殺に追い込んだのち、一揆衆は約8年間にわたって加賀国を支配した。
- ③ 越前から軍勢を派遣した朝倉氏は、春日山に城下町を建設した戦国大名である。
- ④ 一揆の中心となった門徒たちは、結とよばれる信者組織をつくって信仰を深めた。

正解→①



NO185 応仁の乱 2001-一本 正誤

11年間におよんだ応仁の乱に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 京都が戦火を避けることができた背景には、町衆による自治の発展があった。
- ② この乱は、將軍家や幕府の管領家の家督争いがからんで起こった。
- ③ この乱の最中に、畠山氏の軍を退去させた山城の国一揆が起こった。
- ④ この乱は、天文法華の乱を契機に終息していった。

正解→②

地方の動き

1488 ✕ **加賀**】の国一揆

1世紀の自治



守護の **富樫政親**】を倒す

加賀の浄土真宗門徒が **国人**】と結び本願寺領を形成
本願寺の **蓮如**】は、阿弥陀仏の救いを信じれば、誰でも極楽往生できることを平易な文章＝**御文**】で説き、**講**】を組織して**惣村**】に広めていった。

今月五日越前府中に行く。其以前**越前合力勢**（
|| 援軍の朝倉氏の軍勢）**賀州**（|| 加賀）に赴く。
然と雖も、一揆衆二十万人、**富樫城**を取回さ
りまく。故を以て、同九日城を攻落さる。皆生
害七よがい自害す。而るに**富樫一家**の者
一人（|| **富樫泰高**）之を取立つ。
『**隱涼軒日録**』
泰高を守護としてより百姓とり立て富樫にて候
あひだ、百姓等ノウチヨク成テ、近年ハ**百姓ノ**
持チタル国ノヤウニナリ行キ候。
『**冥悟記拾遺**』

NO187 室町時代の戦乱 2010 年 本試験 年代順配列

室町時代の戦乱に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 細川勝元と山名持豊の対立が、大きな戦乱に発展した。
 - Ⅱ 周防国など6 か国の守護を兼任していた大内義弘が、討たれた。
 - Ⅲ 将軍による守護への弾圧に危機感を抱いた赤松満祐が、将軍を殺害した。
- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

正解➡④。Ⅰ 細川勝元と山名持豊の対立に将軍家や管領家などの継嗣争いが絡んで応仁の乱が起こった。1467～77年のことだ。Ⅱ→大内義弘が足利義満の挑発を受けて、堺で敗死した応永の乱は1399年。Ⅲ→播磨守護の赤松満祐が、将軍足利義教を謀殺した嘉吉の変は1441年のこと。